

# 永山のバリアフリー

永山のバリアフリー

約五十年前からある東京都多摩市永山、そこでのバリアフリーはどうか、、、多摩市立永山小学校六年生が調べたことをお伝えします。

## 目次

バリアフリーとは

様々なバリアフリー設備

永山では

改善すべき点

まとめ

## バリアフリーとは

バリアフリーとは、対象者である障がい者を含む高齢者等が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や、精神的な障壁を取り除くための施策のことです。

具体的なものは、点字ブロック 音響式信号機 低い位置にボタンのある自販機 障害者用駐車場 駅などでは大きなコインの投入口などベビーカー、ベビーカーつきのトイレなどもバリアフリーの一つです。

## 様々なバリアフリー設備

みなさんは、バリアフリーと聞いたら点字ブロックや音響式信号機、スロープなどが思い浮かぶと思います。この章では、「えっこんなバリアフリーもあるの?」と思うようなバリアフリー設備を紹介します。



これは低い位置にボタンのある券売機です。

ボタンが低い位置にあるならば、車椅子に乗っている方も簡単に切符を買うことができます。

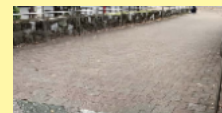


これは自販機ですが下の方にもボタンがあります。

飲み物に番号がふってあり、欲しい飲み物に振っているボタンを押したら出てくる仕組みです。

## 永山では

では、永山はどうでしょうか、



これは、永山駅周辺にあるスロープです。

とても緩やかで、さらに手すりもついているのでどんな人も安心して使えます。



これは、エレベーターのボタンです。

車椅子の方や盲目の方にも使えるように、低い位置にあたり点字がついています。



これは、椅子です。疲れた時に座れるのでとても便利です。永山には疲れた時に休める椅子がいくつかあります。

## 改善すべき点

しかし、改善すべき点もあります。



ベルブの中にある点字ブロックです。しかしマットで点字ブロックが隠れてしまい、点字ブロックを感じにくくなってしまいました。



この椅子は、昔からあり古くなってしまっています。

汚れていて、座る人が少なくなっています。



道の途中でへこんでしまっています。

気づかずに歩いているとつまずいたりする危険性があります。

## まとめ

永山のバリアフリーを調べてみて普段意識しないものが「あっ、これはこういう人の為のバリアフリーじゃない?」と気づくことができました。また、永山にはバリアフリーがたくさんあり、どんな方でも過ごしやすいのではと思いました。しかし、過ぎやすいだけではありません。永山にも改善すべき場所もあるのでそこを知ってもらいたいです。

永山のバリアフリーについて少しでも知っていただけたら嬉しいです。

永山小学校 六年生